

認定心理士

申請資格

01. 認定心理士とは

「認定心理士」とは、正式には「公益社団法人日本心理学会認定心理士(以下、日本心理学会)」（英文名：JPA Certified Psychologist）という資格の名称です。この「認定心理士」の資格は、簡単にいえば「日本心理学会」が、その資格取得希望者に対して“この人物は心理学に関する標準的な基礎知識と基礎技術とを正規の課程において修得している”ということを確認するもので、「日本心理学会」が心理学に関して認定している資格です。

詳細は下記アドレスにアクセスして確認してください。

公益社団法人 日本心理学会	https://psych.or.jp/
---------------	---

認定心理士取得の条件は、<日本心理学会認定心理士認定資格細則>により、次のとおりに定められています。

● 日本心理学会 認定心理士認定資格細則より

第2条 認定資格の条件はつぎの各項を満たすものとする。

- (1) 16歳以降少なくとも2年以上日本国に滞在した経験を有する者。
- (2) 学校教育法により定められた大学、または大学院における心理学専攻、教育心理学専攻、または心理学関連の学科において、別表に掲げる科目を履修し、必要単位を修得し、卒業または修了した者、および、それと同等以上の学力を有すると認められた者。

上記の条件を卒業見込みの学年度において満たしている者は、申請することができる。

「別表に掲げる科目」については、次項【認定心理士資格の基礎条件】を参照してください。

02. 認定心理士資格の基礎条件

※日本心理学会 認定心理士認定資格細則より

領域		認定単位数
① 基礎科目	a 心理学概論	a 領域は4単位以上、b,c 領域の合計が8単位以上でそのうち c 領域が4単位以上であること
	b 心理学研究法	
	c 心理学実験	
② 選択科目	d 知覚心理学・学習心理学	5領域中3領域で各4単位以上を含み、合計16単位以上であること
	e 生理心理学・比較心理学	
	f 教育心理学・発達心理学	
	g 臨床心理学・人格心理学	
h 社会心理学・産業心理学		
③ その他の科目	i 心理学関連科目、卒業論文・卒業研究	①と②の合計単位数が36単位以上の場合は必ずしも必要ではない

- ・各領域とも2単位以上は「基本主題」に属する単位であること(残余の単位分は「副次主題」に属する単位でもよい)
- ・総単位数 **総計36単位以上**

● 本学において日本心理学会に確認をとっている科目と単位

令和2年2月現在。資格取得要件は変更される場合があります。

領域	科目名	学習方法	本学での 単位数	基本主題	副次主題	備考
① 基礎科目						
a	心理学概論	T	4	4		
b	心理測定法	STR/TR	4	4		
c	心理学実験実習1	R	2	2		2014年度までの履修者は(初級)
	心理学実験実習2	SR	2	2		2014年度までの履修者は(中級)履修年度によって学習方法等が異なる場合がありますが、いずれもこの領域です。
② 選択科目						
d	学習心理学	T	4	4		
	認知心理学	R	4	4		
e	生理心理学	T	4	4		
f	教育心理学	ST/T	4	4		
	発達心理学	T	4	4		
	心理教育評価 ※	ST	4	4		学習方法が(T)はg領域
	臨床発達心理学 ※	TR	4	4		
	発達心理学1 ※	T	2	2		
	発達心理学2 ※	T	2	2		
g	臨床心理学	T	4	4		
	パーソナリティ心理学	T	4	4		2007年度までの履修者は人格心理学
	心理診断法 ※	R	4	4		
	カウンセリング論 ※	SR	4	4		
	心理療法 ※	T	4	4		
	心理教育評価 ※	T	4	4		学習方法が(ST)はf領域
	精神医学 ※	T	2		1	
	行動療法 ※	ST/T	4	4		
	犯罪心理学 ※	SR/R	4		2	
	教育相談(カウンセリング含む)(小) ※	T	2		1	
	教育相談(カウンセリング含む)(中・高) ※	T	2	2		
	教育相談	T	2	2		
	学校カウンセリング ※	SR/R	4		2	
産業カウンセリング ※	S	2		1		
h	社会心理学	T	4	4		
	環境心理学 ※	T	4	4		
	産業・組織心理学 ※	SR/R	4	4		
③ その他の科目						
i	卒業研究	R	4	教員による		カリキュラムでは8単位ですが、申請できる単位数は4単位のみです。

※マークのついている科目については、2015年度以前に単位修得した場合、資格申請の要件に含まれませんのでご注意ください。